



マルモン

入社 5 年目。どんなに食べても太らないのが自慢です。

-
- クリック数: 147
- 2008/07/23

アフリカノラクエンニタドリツクマデ

アフリカの楽園にたどりつくまで

皆さま、こんにちは。7 月からスタッフブログの仲間入りをしたマルモです。
どうぞよろしくお願いします。

旅行が趣味ですので、今回は印象にのこったアフリカの旅のつれづれなど。
(主にエジプト→ケニア→タンザニアと 2 ヶ月かけてまわりました)

まずはエジプトに着きました。

現地の方に宿の場所を聞きました。皆さん親切に教えてくれます。場所なんて知らなくても教えてくれます。
エジプトでは、人に聞かれたら、例えわからないことでも教えてあげる習慣があるそうです。

・・・おかげさまで、炎天下をひたすら右往左往(つまり案内は結構間違っていた)。私は 6kg の荷物を担いでました。
文化って、いろいろありますよね。

次は、エジプトからケニアに向かいました。

その時、エジプトの宿の方から、日本大使館員夫人に米を運ぶバイトがあると聞きました。

エジプトは日本が技術を教えたとかで、ジャポニカ米が取れるんです。

奇跡の米ネリカ米じゃないんです。

運びました。

・・・お米は、重いということを知りました。

仕事は、引き受ける前にちょっと考えてみることも必要なんですね。

次はケニアからタンザニアに向かいました。

移動は長距離バスです。乗ってからしばらくすると、後ろに立っていた女性に笑顔で「はい」とあるものを渡されました。

(ケニアの長距離バスは、外国人は外国人料金を払うかわりイスに座れました。)

赤ん坊でした。

赤ん坊はそのまま何時間でも私の膝の上におりました。

・・・赤ん坊は、意外と重いということを知りました。
美女の笑顔には、色んな思惑が含まれているものですね。

そしてタンザニアでは、小さなころからあこがれてつづけたサバンナ、セレンゲティ国立公園へ。
感動と感動と感動の嵐でした。
頭の中は乙女チックな回想シーンでいっぱいですが、ここは冷静に割愛します。最後は、流れ流れてザンジバルへ。

ふらふら歩くと、街中の生活用品屋台で注射針がプラプラ売られてる。
こんな平和な街でクスリなんていやだな、と思っていたところ。

「ケニア、タンザニアのエイズ感染率を知らないのか？」
これは、病院にいったとき、注射針を使いまわされなくなったら自分で差し出すもんだよ」

と、言われました。
針、即効買いました。
※10 年ほど前の話です。さすがに今は使い捨て針になってるでしょうか。

そこは、島の中心部以外は電気もなく、ガスや水道もない島でした。(当時)
なのに、ぽっかり遊園地がありました。

日本の税金で作られたそう。
通電されるのは年にほんの数回だけ。
正直ムダだなと思いましたが。

でも、遊園地が動く日は、島のあちこちから化粧してドレスアップした子供たちがやってきて、
大人も子供もみんな楽しそうで。
それは不思議な光景でした。

ザンジバルは楽園のような島で、蛸をつったり、海草をとったり、それを食べたりして過ごしました。
アフリカ、もしゆっくり回れる機会がありましたら、ぜひ行かれてみてください。

タグ： 島 アフリカ 旅

<http://cybozu.kanshin.jp/keyword/747761>